育成会 かわさき

知的障害者親の会　会報　No.220

2026. 5. 1

新年度を迎えて



川崎市育成会手をむすぶ親の会
会　長　　加藤　敦子

風薫る若葉の季節になりました。会員の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。いつも当会の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。新年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、当会は長く続けてくださっている多くの会員に支えられてここまで活動してまいりました。しかし数年前から、学齢期のお子さんを育てている保護者の方からのお問い合わせや入会が増えてきています。お問い合わせの内容を拝見すると、現在やこれからの子育てに悩まれている様子がうかがえましたので、当会初の試みとして、学齢期の会員対象の「おしゃべり会」を３月に開催しました。詳細は当紙の記事に掲載していますが、お子様連れやご夫婦での参加もあり、大変賑やかで楽しい会になりました。子どもを取り巻く社会環境や制度は、年代によってかなり違います。しかし、子育て中の悩みや不安、そして喜びは年代を問わず共通していると感じました。若い会員の方たちの話には刺激を受けましたし、とても勉強になりました。また、先輩方の経験談には真剣に耳を傾けてくれて多くの質問が出て、活発な意見交換ができました。これからも是非参加したいと言ってくれたことは本当にうれしかったですし、継続していきたいと思います。

当会は、生活訓練（海水・緑陰）と余暇活動を実施しています。担当委員会で場所を選定して企画・運営していますが、毎回、ほぼ定員いっぱいの申込みがあります。

また、年に数回開催する研修会も、近年は募集定員に近い参加者数になっています。多くの方々が積極的に参加してくださることは、企画する側としても大変ありがたく、励みにもなります。今年度も皆様に参加していただける企画を検討していきます。

「育成会の活動に参加すると楽しく力をもらえる！」「子どもや自分のこれからの参考になった！」「また是非参加したい！」と会員に思ってもらえる会であり続けられるよう、今年度も明るく楽しく活動していきたいと思います。皆様の参加をお待ちしております。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



令和８年度川崎市への施策要望回答

会計　　三浦　ひろみ



３月２７日（金）川崎市から回答書を受け取りました。

当会から三役が参加し、今回も事前に「お聞きしたいこと」として伝えていた事項について、意見交換を行いました。

まず、４月より指定管理者が社会福祉法人ハートフル記念会へ変更となる「柿生学園」については、定期的なモニタリングを実施するとともに、総合リハビリテーションセンターとも連携しながら、運営が安定するまで市として見守りを継続していくとの説明がありました。

次に、「二十歳を祝うつどいに」ついてです。今年１月に開催された式典では、事前申込み（要配慮者）３４名に対し当日参加は２０名でした。一般参加者とは別に受付を設けた個別対応や、優先席の設置により車イスやストレッチャーも参加可能とし、３階の思いやりスペースでは、モニター越しの参加にはなるが、個室・畳・ベッドと多様な形で参加できるようにした。令和９年はスタジアムでの開催、それ以降の会場は未定とのことです。

また、昨年１１月より運用が開始された「グループホーム空室等情報一覧リスト」については、ほぼ全ての事業所が協力的で情報提供があり、始まりとしては順調に機能しているそうです。今後は６か月間の運用結果を踏まえ、５月頃に検証を行う予定とのことでした。今後も引き続き、市の動向に注視しながら、意見交換を重ねてまいります。

要望書および回答書は当会ホームページに掲載しています。

『川崎市育成会手をむすぶ親の会　第１４回総会』のお知らせ

総会は代議員制で開催します。支部選出の代議員以外で代議員に応募される方は５月７日（金）までに各支部長までお申し込みください。

【日　時】
令和８年５月１８日（月）
１０時３０分～１２時００分

【場　所】
てくのかわさき２階　てくのホール

【議　事】
１.会則改正（案）
２.令和７年度事業活動報告（案）
３.令和７年度決算報告（案）・会計監査報告
４.令和８年度事業活動計画（案）
５.令和８年度予算（案）

『令和８年　川崎市心身障害児者福祉大会』開催のお知らせ

大会スローガン　　～障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に～

川崎市内の心身障害児者とその家族が安心して暮らせるように、地域福祉の向上と自立を図ることを目的に開催されます。

【日　時】
２０２６年６月２７日（土）
１３時００分～１５時３０分

【場　所】
川崎市総合自治会館　ホール
川崎市中原区小杉３－６００
コスギサードアヴェニュー４階
（エレベーターをご利用ください）

第一部
式　典（開会、祝辞、大会宣言、閉会）

第二部　（１３時４０分～１５時３０分）
講演会
テーマ：「親にとっての卒業とは」
～自分の人生を生きていく～
講　師：友野　剛行　氏
株式会社あんど　代表取締役
株式会社ふくしねっと工房　代表取締役

＊関心のある方はどなたでもご自由に参加できます

全国手をつなぐ育成会連合会「令和７年度正会員代表者・事務局長合同会議」

会長　　加藤　敦子



令和８年３月１６日(月)～２２日(日)、全国手をつなぐ育成会連合会正会員代表者・事務局長合同会議がオンラインで開催されました。

令和８年度事業計画・予算（たたき台）や役員改選など様々な議事の中でも特に、全国的な会員増強および冊子「手をつなぐ」購読増強の推進を目的とした団体賛助会員の仕組みについては、是非積極的に取り組んでいただきたいという話がありました。団体賛助会員とは、事業所単位で賛助会員になってもらい、会員特典として全育連から提供する研修用コンテンツの無料利用や冊子購読、また文具・オフィス用品が８％割引で購入できるというものです。

現在全国に約１０万人いる育成会の会員も、高齢化に伴って人数が減少しています。しかし、国や県市区町村に私たちの声を届け続けるためには、より幅広く多くの人に育成会活動を理解してもらう必要があります。当会としても、団体賛助会員については積極的に取り組んでいきたいと思います。

・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・ ■ ・

２０２５年度行政説明会

中原支部　　木村　益美



全国手をつなぐ育成会連合会主催の行政説明会が動画配信され、各省庁より、現状と最近の動向、対策、法律改正による見直し、また令和８年度の予算案 等について説明がありました。

１．特別支援教育の動向について
　文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課課長　　生方　裕 氏
２．障害者雇用の動向について
　厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課課長補佐　　内山　諒子 氏
３．障害者保健福祉施策の動向について
　厚生労働省 社会・援護局 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室
　虐待防止対策専門官／障害福祉専門官　　松崎　貴之 氏
４．障害児福祉施策の動向について
　こども家庭庁 支援局 障害児支援課課長　　今泉　愛 氏

今後の障害者雇用推進制度の在り方として、インクルージョンや能力開発の面で課題が顕在化しており、特にいわゆる障害者雇用ビジネスについては、雇用の質の確保が課題とされています。今後は、雇用の量的拡大に加え、合理的配慮の徹底や職業能力の発揮・成長を重視し、雇用の質を高めるためのガイドライン整備や制度設計の検討を進める方向とのことです。また、説明全てに共通しているのは、支援を必要とする人が増え、内容も多様で専門的になる中で、人手や専門的な知識を持つ人が少ないこと、また地域差などにより、十分な支援が行き届いていない点です。

今後は「誰一人取り残さない社会」を目指し、人材確保と育成、ICT の活用、関係機関の連携を進めます。あわせて、共通の考え方やルールを整え、どの地域でも安心して支援を受けられる体制づくりを進めていくとしています。

今回、この記事を担当するのは２度目になりますが、「一人ひとりが関心を持つことが大切だな」と改めて感じました。今後も課題を注視しつつ、子どもたちのためにできることを考えていきたいと思います。

２０２５年度育成会フォーラム

副会長　　梅田　順子

令和８年３月３１日（火）からオンライン配信が開始されました。今回のテーマは『知的・発達障害者のある人の「はたらく」を考える』です。

【ポイント解説】就労選択支援の創設と障害者就労支援に関する方向性



全国手をつなぐ育成会連合会（以下、全育連）
常務理事兼事務局長　　又村　あおい 氏

主に新たに創設された制度について解説しました。障害者雇用に取り組む企業に対して、労働局長が認定した事業者が手助けをして、雇用や就業の定着を実現する制度です。これに助成金が支払われます。障害というとらえ方ではなく、特性と考えてそれを強みに変えようという考え方です。

【本人メッセージ】ピアサポーター職員として働く知的障害のある本人からのメッセージ

（福）手をつなぐ　浅沼　徹 氏



厳しい研修を受けてピアサポーターになったとのこと。その中で相手のことを考えるということを学んだそうです。人間関係の相談を受けることが多いそうですが、自分の考えを伝えるのは難しいとのこと。それでも感謝されることは嬉しいし、障害があってもあきらめなければ目標を達成できると思うと話しました。

【パネルディスカッション】
知的・発達障害者のある人の「はたらく」を考える



1. ダンウェイ(株)代表取締役社長　　高橋　陽子 氏

　重度障害のあるお子さんを持ちながら起業しています。シームレスバディ（切れ目のない相棒）というシステムで当事者の能力を可視化しているそうです。重度障害者が働くことにより、周囲の人たちが良い環境を作ろうと頑張ってくれるというメリットがあります。

２．小野寺のりこ事務所代表　　小野寺　徳子 氏

　障害者雇用率は年々増えています。ただ、経営戦略としての雇用が多いのが現実です。その中で、障害者を雇用することで企業の中が居心地の良い場所になるという考え方が広まっています。つまり障害者に配慮することで、他の健常者にも快適な職場になるということです。そのようにして「はたらく」を通じた幸せの実現を目指しています。

３．全育連政策センター委員長　　高木　誠一 氏

　近年福祉を悪用する事件が増えています。福祉が障害のある人の人生に寄り添う永続的な援助からかけ離れてしまっています。そんな中、就労継続支援事業の役割は重要で、地域の中で働き役割を持つことはとても意味のあることです。決して「はたらく」ことだけが目的ではなく、本人が自分らしく生きる（自己実現）ことが大切なのです。

最後に全育連の佐々木会長も加わり、締めの一言を述べられました。高橋氏は、人の可能性は無限大と信じます。仲間の支え、そしてご縁は大切です。小野寺氏は、一人一人の特性をいかに生かせるか。可能性を信じてチャレンジして欲しい。高木氏は、人を人として大切にする。特性を理解する基盤を考えていきたい。佐々木氏は、できないと思わずできることを見つける配慮。人を大切にする理念を忘れずに。トラブルに巻き込まれないように周囲が気をつけてあげたい。仕組みや法整備も重要になります。

育成会フォーラム・行政説明会は５月３１日（日）までオンライン配信されています。会員は無料で視聴できますので、関心のある方は支部長に連絡、またはＨＰよりお問い合せください。

やまゆり生活サポート協会との共催研修会　　２月１９日（木）川崎市総合自治会館

「親の高齢化・子の高齢化」より～本人の住まいをどのように確保するか～

会計　三浦　ひろみ

講師　　全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長
又村　あおい 氏



今回は「住まい」に焦点を当て、お金のこと、日中通う場所、制度の切り替わりなどについての講演でした。当日は６９名の参加がありました。

障害のある方の住まいは、時代とともに多様化しています。入所施設・グループホーム・サテライト型・単身生活・シェアハウスなど、さまざまな選択肢があります。それぞれの住まいの仕組みや特徴、違いについて丁寧な説明があり、理解を深めることができました。

また、本人が６５歳を過ぎると、介護保険施設（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など）に入所する可能性も想定されます。その際は親も高齢であることが多く、後見人は契約を担えても、住まいの選択には相談支援との関わりがとても重要であるという話がありました。

「入所は衣食住や支援のすべてがパッケージされているが、そうでない暮らしを望むなら、漠然としたままではダメ！どこでどのように暮らしたいのか、何を準備するのか、どこに話をしておく必要があるのか、すべて具体化していかないと成立しない」「住まいのお試しのタイミングは、家に帰れるうちに」「親なきあとでは戻る場所がない」などが印象に残りました。



さらに、グループホームの整備を進めるために、どのように市への要望につなげていくかという具体的な視点も示してくれました。また、「居住支援」という制度についても紹介がありました。これは福祉制度ではなく住宅政策であり、川崎市は政令指定都市のため「居住支援協議会」が設置されています。こうした仕組みを知っておくことの大切さを知ることができました。多くの学びと気づきが得られた、大変有意義な研修会となりました。

知的障がい児者・発達障がい児者（自閉症児者を含む）の
生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援　●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援　の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金 ※プランによって補償します	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金（地震・噴火・津波によるケガも対象）	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023　東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館 2F
TEL：03-5321-3373　FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
TEL：03-5401-3660
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり生活サポート協会
〒221-0825　神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号
神奈川県社会福祉センター5F
TEL：045-314-7716　FAX：045-324-0426
https://yurisapo.jp

2026年1月現在の内容です。(D-008146 2026-12)

2026年度は10,800名余の方にご加入いただいています。誠にありがとうございます。毎月１日付で加入できます。2026年度もご加入よろしくお願いいたします。

支部通信

バス旅行（川崎支部）

支部長　　安達　ゆかり



１月２４日（土）２２名の参加者でバス旅行を実施しました。

はじめの目的地はいちご狩りの「グランベリー大地」です。昨年も好評だったので、今回もこの場所を選びました。再び、皆さんに喜んでいただき、いちご狩りを楽しむことができました。「かおり野」という、いちごが甘くて美味しかった！と参加した方々が私に話しかけてくれました。

その次に「ポケットファームどきどきつくば牛久店」に行き、産直野菜や果物のお買い物をしました。お饅頭やお団子なども美味しそうでした。

このあと、「旅館梅屋」で「和食懐石つくし」の昼食を食べました。すき焼きのお鍋やお刺身があり、お腹いっぱいになりました。帰りのバスでは、朝が早くて、お疲れになった方も多く、ほとんどの方は、おやすみになっていました。今回、小さなアクシデントがありましたが、皆さんが協力してくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

「はぴ☆フェスさいわい」出展／新年会（幸支部）

支部長　　小板橋　冬



１月１７日（土）幸市民館にて市民活動交流イベント「はぴ☆フェスさいわい」が開催され、パネル展示で参加しました。天候にも恵まれ、多くのご家族連れや近隣の子どもたちが来場されました。

展示ブースでは、興味を持って足を止めてくださった方々に、当会のパンフレットや広報紙をお渡ししました。他団体の展示や体験コーナーも大変参考になり、次回の出展に向けた貴重な経験となりました。



２月９日（月）には、さいわい健康福祉プラザ１階ホールにて、幸支部新年会を開催し、８名が参加しました。すでにお子さんがグループホームに入居されている方や、成年後見制度を利用されている方の体験談を伺い、話が盛り上がりました。普段得られない情報を共有でき、有意義な時間となりました。

今後も、このような情報交換の場を大切にし、次回の活動へと繋げたいと思います。

新年支部会・懇親会（高津支部）

支部長　　三浦　ルイ子



２月４日（水）福祉パルたかつにて行いました。高津区社会福祉協議会地域課大山課長、加藤会長をはじめ役員の皆様、会員を合わせて１４名の参加でした。

加藤会長の新会長挨拶の後、皆様から、「息子のおかげで元気でいられるのかな？」「グループホームに入って１年が過ぎたが楽しいと言っている」「近くの施設に移ったことでいつでも面会に行けるようなった」などの近況報告がありました。

懇親会は、場所を移して食事をしながらおしゃべりをし、たくさん笑いました。前半の支部会でご家庭の事情で会を辞めると話された方から「これからもよろしく！」と会に残ると話され、懇親会はますます盛り上がりました。

今年度も、集まって話し合えることの大切さを感じるひとときでした。

茶話会（宮前支部）

支部長　　小澤　千枝



３月１１日（水）宮前区役所１階の宮前区民活動支援コーナーで茶話会を行いました。宮前区役所は急な坂の上にあるので不便なことを心配しましたが、加藤会長をはじめ役員の皆様に出席していただき、会員を合わせて参加人数は９名でした。
今回は昨年入会した若いお母さんも出席され、少人数ですが幅広い年代の親睦の場になりました。

加藤会長の挨拶の後、参加の皆様に自己紹介、近況報告をしていただきました。まず子どもの歯科検診や治療の話題になり、通所施設で行われている検診、川崎市の歯科保健センター、大学病院などでの抜歯手術、治療費、等それぞれの受診事情や経験談で盛り上がりました。ざっくばらんな話の中にも制度やサービスの情報、アドバイスがあってとても参考になります。その後も様々な話題で話が尽きませんでした。

会話することの楽しさを感じられる良い機会となりました。

新年懇親会（多摩支部）

支部長　　神田　明子



３月４日（水）多摩支部懇親会を日本料理柏屋で行いました。前日までの雪予報で交通の状況をとても心配していましたが、窓いっぱいに青空が広がっていました。参加は三役を含めて９名でした。

食事をしながらそれぞれの近況から昔の話などで話が弾みました。乳児期の大病やのその時の手術の話や、お医者さんの情報、通所施設が建て替え中の現状、シェアハウスに入られた方の最近の様子など、話題に尽きることがありませんでした。



食事の後、屋上階「川風のガーデン」まで上がりました。こちらはどなたでも自由に行くことができるそうです。近くの多摩川は小田急線が行きかう姿はもちろんですがスカイツリーも見ることができました。花火の時には予約がすぐに埋まると聞いています。とてもゆったりしたいい時間になりました。

あさお語ろう会（麻生支部）

支部長　　黒瀬　晶子



３月３１日（火）特定非営利活動法人ぶらりば「カフェ・ド・リアン」にて、『あさお語ろう会』を開催しました。
あいにくの雨でしたが、窓から桜の花を見ることができ、「弁当弁」の美味しい日替わり弁当を食べながら、会話の花も咲きました。参加者は５名でした。初めましての方や、毎回参加されている方に、自己紹介を含めて近況報告を話していただきました。グループホームや後見人について等、日頃の悩みや情報交換を中心に、有意義な時間を過ごすことができました。

次回の開催は未定ですが、また皆様と楽しく有意義な時間を過ごせればと思っています。

『手をつなぐ』を購読しませんか！！

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報です。
年間購読料は３，９００円です。
関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡お願いします。



おしゃべり会　３月７日（土）

副会長　　梅田　順子



地域福祉施設「ちどり」にて開催しました。

若い世代の保護者の方たちと交流を持ちたいと、初めて設けた会です。どれだけ集まるのか？と手探りの中発進しましたが、思ったよりたくさんの方（役員含め２０名）が参加してくれました。子ども連れの方もいて、賑やかな会になりました。

学校選びのことや卒業後の放課後支援はどうなのか、が大きな不安材料のようでした。年金受給のことはまだ先ですが、今からやっておくべきことをお話しました。その他話は多岐に渡り、時間が足りませんでした。少しでも皆さんの参考になってくれたら嬉しいです。

我が子の時代とは状況が変わっていることもたくさんあり、私たちも勉強になりました。終了後も残ってお話しする方もいて、皆さん情報を求めているのだと感じました。そして開催してみて驚いたのは、お父さんの参加が多かったことです。様々な面で時代は進歩しているのですね。次回も参加したいとの声が多く聞かれたので、第二弾を計画したいと思います。

令和７年度障害者団体部会リーダー研修（座学）　２月２４日（火）川崎市総合福祉センター

『災害対策基本法』及び『災害救助法』の改正点から『避難』を学ぶ

中原支部　　西澤　知子

『災害福祉の動向と課題について』

講師　川崎市健康福祉局危機管理担当　　小林　和義 氏



災害対策基本法等の一部改正に伴い「被災者に対する福祉的支援などの充実」「福祉サービスの提供」が明記され、避難所のみでなく自宅、車に避難している方々になど、場所ではなく人に届く支援を目指すことでした。

神奈川県災害派遣福祉チーム（DMAT）が福祉支援を行うため、介護支援専門員、社会福祉士、理学療法士などの団体に協力を得て組織されるそうです。神奈川県では災害時の要配慮者支援の取組をより促進するため、地域福祉課内に「災害福祉グループ」を新設しました。川崎市も準備を進めているようです。

我が家では、子どもの計画相談支援と一緒に「災害時個別避難計画」を立てていただいたので何となく安心していたのですが、今回の研修で法律は整備されてきているけれど、福祉の担い手や地域の担い手が減少している現実を感じました。国や川崎市の災害福祉に大いに期待しつつ個々の防災意識も高めたいものです。

「第５４回　かわしん ふれあい市場」開催のお知らせ



【日　時】令和８年５月１５日（金）１０：００～１５：００

【場　所】川崎信用金庫本店　１階ロビー

１３施設が出店します。手づくりパンやクッキー、自家焙煎コーヒー、小物製品などを販売します。皆さまのお越しをお待ちしています。

ふれあい製品のホームページを開設しました

『手作り製品カタログ Heart&Hand』ホームページを開設しました。是非ご覧ください。

【川崎市ふれあい製品　https://fureai-kawasaki.info/】

私たちの広場　「料理教室」



令和８年２月８日（日）てくのかわさき調理実習室にて総勢１４人で料理教室を行いました。川崎市栄養士会会長の濱谷先生のご指導で「牛肉とごぼうの炊き込みご飯」「鶏とパプリカの彩り炒め」「デザート」に挑戦しました。外はあいにくの雪模様で凍えるような寒さでしたが、調理に取り掛かると寒さも忘れ、実習室の中は熱気と美味しい匂いで温かな雰囲気となりました。参加者全員でてきぱきと器具の準備を行い調理開始。食材を適度な大きさに切ったり炒めたり。炊き込みご飯は、先生が下ごしらえをした具を、研いだお米といっしょに炊飯器に入れて炊くだけですが、楽しそうに率先して先生に確認しながら、電気釜の準備やお米をといだりする人もいました。

支援者として料理教室初参加の私は、皆を見守っているだけで料理が出来てしまった様で、お恥ずかしい限りです。皆で協力して作った事で、格段においしくなった料理を囲む時間は格別で、充実した一日となりました。　（支援者　数金）

すったもんだの毎日（週末）

娘は、平日はグループホームで暮らしています。週末に帰ってまずやることは、お気に入りの物の位置・配置が変わっていたり少しずれていれば、家を出る前の状態に戻すことです。棚に置いたマニキュア（１０本以上を２段に飾っている）・クッション・小瓶の調味料も、頭の中に記憶しているのか？と思うほど綺麗に並べ直したり移動したりと忙しそうです。気になる物、そうでない物の基準はあるようです。



ある時、娘の物を置くスペース（お菓子の保管場所）が少し空いてきたので娘のではない物を置いていたのですが、帰宅後「これは？」とすぐに排除され元の状態に。スペースを狭くすることで、お菓子の量を減らせるかもと思っていたのですが、娘にとってその場所は譲りたくないようです。しばらく補充しない状態が続いています。

そのうちに次のバス旅行でのお土産で、またいっぱいになるでしょう。　（R．M）



川崎市関係主要職員の紹介（令和８年４月１日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	鹿島　　智
障害保健福祉部長	丹野　　睦
障害計画課長	山口　晴生
障害者施設指導課長	鷲見　卓也
障害福祉課長	泉　　基広
精神保健課長	山寺　啓一
障害者社会参加・就労支援課長	祢冝　正太郎
総合リハビリテーション推進センター所長	小林　宏高
総合リハビリテーション推進センター副所長	柳原　成行
総合リハビリテーション推進センター担当部長	柴崎　聡子
総合リハビリテーション推進センター総務・判定課長	平井　恭順
総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課長	塚田　和広
総合リハビリテーション推進センターこころの健康課長	植木　美津枝
南部地域支援室長	倉本　哲義
中部地域支援室長	佐藤　泰雅
北部地域支援室長	櫻井　直子

令和７年度特別支援学校等卒業生の進路状況

１．卒業の状況

学校名	卒業生数
市立中央支援学校	６３
市立田島支援学校	５５
市立聾（ろう）学校	3
県立鶴見支援学校	2
県立中原支援学校	２６
県立高津支援学校	４１
県立麻生支援学校	２４
市外特別支援学校	6
その他の学校	１１７
合計	３３７



２．近年の特別支援学校等卒業生進路状況

		令和５年度	令和６年度	令和７年度	
日中活動	就労移行	１６	8	7	2.1%
	就労継続	３７	３３	４１	12.2%
	生活介護	３０	５８	６０	17.8%
	自立訓練	１８	１６	１３	3.9%
	地域活動支援センター	2	1	3	0.9%
	計	１４３	１１６	１２４	36.8%
入所		4	2	0	0.0%
就職		４３	５３	６４	19.0%
職業訓練機関		3	1	0	0.0%
進学		２１	4	5	1.5%
その他		９２	１２９	１４４	42.7%
合計		３０６	３０５	３３７	100.0%

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和８年１月２０日～令和８年４月１４日まで》

＜各種会議、行事＞

１月２４日（土）	川崎支部日帰りバス旅行	茨城県グランベリー大地
２７日（火）	第４回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
２月　２日（月）	三役会議	オンライン
４日（水）	高津支部新年支部会・懇親会	福祉パルたかつ
６日（金）	第４回研修事業推進委員会	オンライン
９日（月）	幸支部新年会	さいわい健康福祉プラザ
１８日（水）	第８回運営委員会	オンライン
１９日（木）	やまゆり生活サポート協会との共催研修会	川崎市総合自治会館
２８日（土）	春のレクレーション	道の駅湘南ちがさきと鎌倉
３月　４日（水）	多摩支部新年懇親会	柏屋
６日（土）	三役会議	オンライン
７日（土）	おしゃべり会	地域福祉施設「ちどり」
１０日（火）	第４回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
１１日（水）	宮前支部茶話会	宮前区役所
１３日（金）	第２回権利擁護委員会	オンライン
１８日（水）	第９回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
２７日（金）	川崎市への施策要望回答	川崎市役所本庁舎
３１日（火）	三役会議	オンライン
３１日（火）	麻生支部あさお語ろう会	カフェ・リアン
４月　７日（火）	令和８年度第１回余暇活動委員会	地域福祉施設｛ちどり｝
１１日（土）	３支部合同バスハイク	クランベリー大地と道の駅常総
１４日（火）	令和８年度第１回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

＜対外行事＞

１月２０日（火）	川崎市障害者差別解消支援地域協議会	川崎市役所本庁舎
２６日（月）	ＮＰＯ法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
２９日（木）	川崎市社会福祉協議会評議員会	川崎市総合福祉センター
３０日（金）	やまゆり事業推進委員会	かながわ県民センター
２月　５日（木）	川崎市立中央支援学校運営協議会	川崎市立中央支援学校
１０日（火）	川崎市障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
１２日（木）	川崎市福祉有償運送協議会	川崎市役所本庁舎
１６日（月）	「地域でつながる地元交流会」	宮前区社会福祉協議会
１７日（火）	川崎市障害者施策審議会	川崎市役所本庁舎
１９日（木）	障害者支援区分認定審査会	オンライン
２４日（火）	川崎市社協障害者団体部会リーダー研修	川崎市総合福祉センター
２４日（火）	ＮＰＯ法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
２６日（木）	川崎市地域自立支援協議会	川崎市役所本庁舎
３月　２日（月）	三団体会議	地域福祉施設「ちどり」
９日（月）	川崎市立中央支援学校卒業式	川崎市立中央支援学校
１０日（火）	川崎市立田島支援学校卒業式	川崎市立田島支援学校
１０日（火）	川崎市バリアフリーまちづくり連絡調整会議	川崎市役所本庁舎
１２日（水）	あんしんセンター業務審査審議会	川崎市総合福祉センター
１６日（月）	全育連代表者・事務局会議	オンライン
１９日（木）	障害者支援区分認定審査会	オンライン
１９日（木）	川崎市障害者社会参加推進協議会	川崎市教育文化会館
２４日（火）	川崎市高齢者・障害者施設従事者等虐待防止検討会	川崎市役所本庁舎
２４日（火）	川崎市社会福祉事業団評議員会	法人事務局
２５日（水）	川崎市社会福祉協議会評議員会	てくのかわさき
２６日（木）	やまゆり生活サポート協会理事会	神奈川県福祉センター
３０日（月）	社会福祉法人育桜福祉会評議員会	法人本部
３０日（月）	ＮＰＯ法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
４月　６日（月）	川崎市立中央支援学校入学式	川崎市立中央支援学校
６日（月）	川崎市立田島支援学校入学式	川崎市立田島支援学校

寄付　阿部　多賀子　１０，０００円　　吉野　謙二　５，０００円
　　中村　恵美子　３，０００円　　（敬称略・順不同）

春のレクリエーション　２月２８日（土）

神奈川県「道の駅湘南ちがさきと鎌倉でランチ・散策」

参加者は７４名でした。昨年オープンした人気の「道の駅湘南ちがさき」で野菜、海産物、スイーツ等のお買い物をして、昼食は鎌倉観光会館「味亭」で名物のしらす飯を食べました。そのあと大仏で有名な高徳院を参拝。暖かく明るい日差しの中、会員の皆さんと一緒にバスの旅行を楽しみました。　（余暇活動委員　　小澤　千枝）



海水訓練のお知らせ

日時：令和８年７月１５日（水）場所：千葉県勝浦「三日月シーパークホテルアクアパレス」

＊詳しくは配布されるチラシをご覧ください。



編集後記

３月の２２０号の企画から５月１日発行の間に令和８年度に変わりました。広報委員会では広報紙、ホームページ、Facebook、応援ナビかわさき等を通して、様々な情報をわかりやすくお伝えしていきます。今年度もよろしくお願いいたします。　（小澤　千枝）

【も　く　じ】

Ｐ．１･･･会長挨拶
Ｐ．２･･･令和８年度川崎市への施策要望回答／第１４回総会のお知らせ／
　　令和８年福祉大会開催のお知らせ
Ｐ．３･･･全国手をつなぐ育成会連合会「令和７年度正会員代表者・事務局長合同会議」
　　報告／２０２５年度行政説明会
Ｐ．４･･･２０２５年度育成会フォーラム／オンライン配信のお知らせ
Ｐ．５･･･研修会／やまゆり広告
Ｐ．６･･･支部通信　川崎支部／幸支部／高津支部
Ｐ．７･･･支部通信　宮前支部／多摩支部／麻生支部/手をつなぐ購読のお知らせ
Ｐ．８･･･おしゃべり会／市社協障害者団体部会リーダー研修（座学）／
　　第５４回かわしんふれあい市場お知らせ
Ｐ．９･･･私たちの広場／すったもんだの毎日／ぜんち共済広告
Ｐ．10･･･川崎市関係主要職員の紹介／令和７年度特別支援学校卒業生進路状況／
　　近年の特別支援学校卒業生の進路状況
Ｐ．11･･･活動報告／寄付
Ｐ．12･･･春のレクリエーション／海水訓練のお知らせ／編集後記／もくじ

編集担当
三浦ルイ子
安達ゆかり
木村益美
梅田順子
美和とよみ

発行責任者　川崎市育成会手をむすぶ親の会　会長　加藤　敦子
〒213-0011　川崎市高津区久本3-6-22　地域福祉施設「ちどり」
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216　http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki